令和7年度 沖縄IT津梁パーク施設及び沖縄情報通信センター
指定管理者制度運用委員会におけるモニタリングの検証結果について
(令和6年度実績分)

1. 施設名：沖縄情報通信センター
2. 開催日時：令和7年7月22日（火）10:00-
3. 開催場所：沖縄IT津梁パーク 中核機能支援施設第1会議室
4. 出席者：委員5人中 4人出席
(会長) 国立大学法人琉球大学工学部 准教授 國田樹
(委員) 沖縄県中小企業家同友会 理事 仲間高乃
(委員) 一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会 理事 新田慶子
(委員) 株式会社C&C沖縄 取締役 吉田秀
(事務局) 沖縄県商工労働部 ITイノベーション推進課 課長 東盛舞子
基盤整備班長 仲西康二、主査 喜友名、主任 祖根
(指定管理者) 沖縄情報通信センター管理運営コンソーシアム 比嘉、上地
5. 検証事項：沖縄情報通信センター（令和6年度実績）に係るモニタリングの実施結果

6. 検証内容

- (1) モニタリングは適正に行われているか
- (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
- (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか

7. 検証方法

- (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
- (2) 委員からの質疑・意見

8. 検証結果

沖縄情報通信センターの管理運営は、概ね適切に行われている。

9. 主な質疑・意見

(会長)	修繕費が増加傾向にあるとのことだが、グラフを見るとそこまで増えているように見えない。むしろ燃料費の方が増加傾向は強い。
燃料費について今後の対策等はあるか。
(指定管理者)	燃料費については、毎月定期的に発電機（4機）を試運転しており、それに使用するA重油の単価が10円ほど値上がりした。A重油は年間で1,200Lほど使用しているため、燃料費が大分上がってきている。
(会長)	燃料費が増加することで管理費が不足する事態は今のところ予想されていないか。
(指定管理者)	今のところ、単価の上昇も止まっているので、不足は予想されていない。
(委員)	今、共用部に自販機は既に設置されていない。入居者以外の方が施

設に来た際に自販機がない状態であるが、施設としてその辺りはどう考えているか。

(事務局) 共用部の自動販売機は公募により設置しているが、今回の公募では応募がなかった。令和6年度まで設置していた業者に確認したところ、採算がとれないため応募しないとのことだった。各自で専用区画内に設置することも可能であることから、必要のある企業は検討いただきたい。

(指定管理者) 補足すると、入居企業に飲料自販機メーカー系の企業があり、その企業が社員向け価格で専用区画内の入り口に営業時間内であれば誰でも使用できるような形で自販機を設置している。そのため、共用部分の自販機と競合になってしまう状況であった。

(委員) 災害BCPは作成しているか。

(指定管理者) 作成している。その一環で各種訓練等を実施している。

(委員) 設備保守点検業務の委託とそうでないものの違いは。

(指定管理者) 点検業務は主に構成企業のヤシマ工業が担当しているが、エレベータや発電機などの専門性の高い設備についてはメーカー系の企業に委託している。

10. 会議の公開状況：公開